

教育課程の編成の基本方針

1 指導内容について

- ① 各教科において
 - 自分の考えをつくり、表現する授業を構築する。
 - ICTを積極的に活用し、授業の効果を高める。
- ② 道德教育、人権・同和教育の視点に配慮した教育活動において
 - 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を高める内容を設定する。
 - 人権・同和教育教材を積極的に活用し、人権教育の充実を図る。
- ③ 特別活動において
 - 自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる。
 - 学校行事や体験的活動を通して、集団での望ましい人間関係づくりに努める。
 - 学校行事の充実と生徒会専門委員会活動の活性化を図る。
- ④ 総合的な学習の時間において
 - 課題の設定と情報収集、整理、まとめを行い、表現する活動を充実させる。

学年	内容
1	進路学習（職業調べ・GTによる講話、職場体験学習）
2	進路学習（高校調べ、高校授業体験） 歴史体験学習（平和学習・伝統文化体験・修学旅行宿泊体験、京都班別自主研修）
3	進路学習（体験入学参加）

2 授業時数の配当

※29コマで時間割を作成する。

区分	各教科									特別の教科 道徳	学活	総合的な 学習	業時数 総授
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技・家	英語				
1 学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2 学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3 学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015
	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29
計	385	350	385	385	115	115	315	175	420	105	105	190	3045

3 考査

定期考査は、基礎学力の定着を確認する場として設定し、日常の学習指導を評価し、授業改善に役立てることを目的とする。定期考査は下の表のように、5教科と9教科の組み合わせで4回を実施する。

	第1回	第2回	第3回	第4回
1学期中間	1学期期末	2学期中間	2学期期末	学年末
なし	9教科	5教科	9教科	9教科